

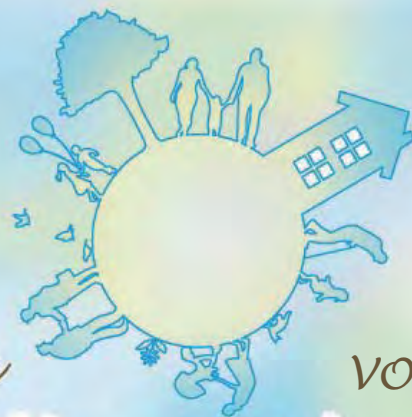
Living the LOTUS

Buddhism in Everyday Life

8

2019

VOL. 167



開祖随感

うなずく愛語

「なんの反省もなく、よくも平気であんなことができるものだ」とあきれ返るような人が、みなさんのまわりにもいるかもしれません。「この人は、なんという人なんだろう」と、がまんできなくなることもあると思うのですが、もう一度、その人の身になって考えてあげてほしいのです。

おそらくその人は、まわりの批判や攻撃に心を閉ざして、幾重もの鎧^{よろい}で自分を守っているのだと思うのです。それをさらに責め立て矯正しようとしても、聞いてくれるわけがありません。

心の底から「これではいけない」と、自分がその気にならないかぎり、人は、どんなにうるさく言われても変

わるものではないのです。大事なのは、どうしたら相手に本気になってもらえるか、そのための働きかけです。それは、ほんの一か所だけの心と心の触れ合いでいいのです。

かたくなに自分を守っている人がいちばん求めているのは、本当の味方になってくれる人なのです。

「愛語」とは、優しい言葉という意味ですが、上手なことを話せなくても、相手を信じきって、相手の訴えに心からうなずいてあげられたら、それだけで立派な愛語になるのです。

(『開祖随感』9, p. 232-233)

Living the Lotus 2019年8月号 (Vol.167)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 齋藤高市

編集チーフ: 鈴木健祐

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

自分の「宝」を輝かせる

立正佼成会会長 庭野日鏡



自信をもちにくい時代

「よそはよそ、うちのうち」—ほかの人や家と比べて、自分やわが家になくものを子どもがねだったときに、親の口から出るのは、きまってこのような言葉でした。一人ひとり、それぞれ独自の人生を歩んでいるのですから、人と自分を比べる必要はないということ、わかりやすく表現した言葉とも受けとれます。

しかし、人をうらやみ、ときには劣等感を抱くことも、人間の自然な感情かもしれません。口惜しさをばねに努力を重ね、能力を発揮して、向上をめざす人も多いためです。

仏教では、人と比べる見方がものごとを見る目をいかに曇らせるかを教えています。仮に人をうらやむ気持ちが生まれても、それを必要以上の欲望や無益な憎しみに発展させないよう、心を制御することが大切なのです。

一方で最近では、劣等感を抱くあまり生きる自信を失くし、「自分には、生きている価値がない」とまで思いこんでしまう人がふえているように思います。

法華経の「信解品」に「長者窮子の譬え」という話があります。そこに登場する「窮子」も、そのような一人でしょう。放浪生活を送っていた自分を雇ってくれた長者に信頼され、金銀財宝を収める倉の管理まで任されながら、それでもなお「自分とはとるに足りない人間だ」と思いこんで、卑屈な思いを拭いきれないのです。

いま、この「窮子」のように自信をもてないという人がふえているのはなぜかといえば、欲望を刺激する情報が過剰にあふれるなか、経済的な格差とか、人生において得るものが多いか少ないかなどを、多くの人が容易に推し量れる時代だからではないでしょうか。





仏性を輝かせる

たとえば、「人よりも貧しいと、不幸でつらい」という価値観があるとします。この価値観はじつに不確かなものですが、仮にそれが自信や希望を失わせる要因の一つだとしても、こうした価値観に基づいて「自分は不幸だ」と決めつけているのは、ほかでもない自分自身です。人生は「縁」によってどのようにも変化し、固定したままで存在するものは何一つとしてないのです。それなのに、自分にそうしたレッテルを貼って苦しみ、自信や希望を失くしてしまつては、授かった命がもったいないと思います。

劣等感とは、向上心の裏返しといえます。胸の奥底に「よりよく生きたい」という願いがあるからこそ、ときに口惜しい気持ちも芽生えてくるのです。ただ、自分が不幸なのは世の中のせいだとか、他人のせいだといった思いこみにとらわれると、成長の糧となるはずの劣等感が愚痴の種に止まり、向上心に結びつかないのではないのでしょうか。

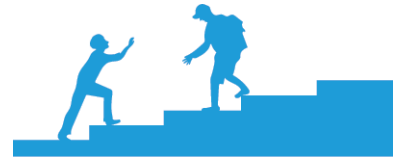
さて、先の「信解品」の「窮子」は、長者の臨終間際、枕辺に集まった人びとの前で、長者からこう告げられます。「この男は、幼いころ行方知れずになった私の子です。私の財産は、すべてこの子のものです」と。これは、卑屈な思いの「窮子」が自分の宝に気づかされる瞬間ですが、この言葉には、「すべての人が仏の子であり、仏と一体の仏性そのものです。だから、自信をもってその自分の宝（仏性）を輝かせなさい」と伝える真意がこめられています。

そして、自らの「宝」に気づいて喜ぶだけではなく、まだそのことを知らない人に自分の気づきをお伝えして、その人の「宝」を照らすふれあいをしていくと、自分の「仏性」がよりいっそう光り輝くことを教えるのです。

仏の教えを信じ、理解することが「信解」ですが、人はみな等しく「仏性」という宝をもっていると「信解」し、お互いさま、自信をもって人生を歩んでまいりましょう。

(『佼成』2019年8月号)





信仰の道筋で気づいた幸せ



バングラデシュ教会
デュラル・ボルア

この体験説法は、2018年10月26日にバングラデシュ教会で行なわれた、バングラデシュ教会発足20周年記念式典で発表されたものです。

皆さま、お願い致します。

私はデュラル・ボルアと申します。妻リリと2人の娘との4人家族です。父の名前はショチンドロ・ラル、母はポロミタです。私は現在、コクスバザールのラム拠点で支部長の大役をいただいています。

本日はバングラデシュ教会にとって大変意義深く、歴史に残る日です。この佳き日に体験説法のお役をいただき、有富教順教会長さんをはじめ、サンガの皆さまに心より御礼と感謝を申し上げます。

私は2012年3月1日に立正佼成会とのご縁をいただきました。お導きくださった友人のシュニル・ボルアさんに感謝申し上げます。また、我が家にご本尊がご安置された日から現在に至るまで、私をサポートくださった元支部長のオショック・クマル・ボルアさんにも、心より御礼と感謝を申し上げます。

佼成会とのご縁をいただく前、私は会社員として働きながら社会福祉活動などにも参加していました。しかし、あるときから急に体の具合が悪くなり、歩くことすらままならなくなりました。ベッドで寝たきりの生活が続き、仕事もできなくなったため、会社を辞めざるを得ませんでした。治療にお金がかかり、また生活費もかさんだため、借金が膨らんでいきました。精神的に追い詰められて次第に氣力を失い、自分が惨めに思えて、人と会話することさえ苦痛に感じられるようになりました。肉体的、精神的、金銭的に様々な問題を抱え、苦しい日々が続きました。

そんなある日、シュニル・ボルアさんと出会いました。シュニルさんは佼成会のリーダーの方と一緒に我が

家まで来てくださり、その後も手どりを続けてくださるなかで、佼成会について多くのことを教えてくださいました。初めて開祖さまの教えを学ばせていただいているうちに、少しずつですが自分の心が変化し、気持ちが楽になっていくのを感じました。

手どりに来てくださったおかげさまで、山のようにあった問題も徐々に解決の糸口が見つかり、人と会話することが再びできるようになりました。その後、ラム拠点に足を運び、ご供養に参加するようになりました。開祖さまの教えを実践すると、自分の心が良い方に変化していくのが分かり、幸せの光を感じられるようになりました。ちょうどその頃、シュニルさんから正式に入会することを勧めていただきました。もうすでに佼成会で人生の正しい生き方を教えていただき、教えを体験し、教えの尊さを実感していましたので、入会に迷いはありませんでした。



バングラデシュ教会で説法をするデュラル・ボルアさん

入会後まもなく、壮年部活動に参加するようになりました。教えのおかげさまで私の人生は大きく変わり、そんな私の姿を見て近所の皆さんは驚きました。自分の修行として、私はまず近所の友人・知人への手どりと導きを始めました。ラム拠点のリーダーさんたちも協力してくださり、現在までに50人以上お導きすることができました。私の家族も教えに感動し、今では一緒に活動に参加しています。

2014年5月2日、私がラム拠点の主任のお役をいただいた日のことです。開祖さまの教えをもっと深く学ばせていただきたいと思っていたとき、バンコクで行なわれた法華経集中講座に初めて参加するお手配をいただき、「まず人さま」や「相手の苦しみを自分の苦しみと受けとる」ことの大切さについて深く学びました。それまでは人を励ましてあげたいと思う気持ちなど自分にはありませんでしたが、セミナーに参加したことでその大切さを実感することができました。それからはバンコクで学んだことを地元で実践し、一人でも多くの人にお伝えできるよう努力しました。

2016年6月17日には本部からご本尊を、同年の10月23日には教師資格をそれぞれ拝受しました。日本の教会で布教実習をさせていただいたとき、手どりや導きに歩いたことは大切な経験となりました。そして2017年4月1日、私はラム拠点の支部長のお役を拝命しました。

私は支部長のお役を通して、多くの方々のご縁をいただいています。お役を通して出会ったすべての方が仏さまとつながることを願い精進させていただいています。そして、これまでの経験や学びを活用しながら、苦しんでいる人の力になりたいと願っています。リーダーの役割は慈悲心をもって人さまに接し、幸せになっていただけるようお役を果たしていくことだと思います。「今あなたがいただいているお役は、仏さまから

頂戴しているのです」とご指導をいただきました。今このお役を通して、仏さまの手足となって、一所懸命に教えをお伝えさせていただきます。

ここで、有富教会長さんに感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。私は教会長さんの信仰姿勢に感銘を受け、これまでに何度も感動の涙を流してきました。教会長さんをご自身の安定した生活を投げ打って、私たちの幸せのために毎日頑張ってくださいしています。そのような教会長さんを、私は心から尊敬しています。教会長さんのおかげさまで、私は人生を大きく変えるチャンスを得ました。

会員になってから今日までを振り返ってみますと、精一杯修行すればするだけ、有り難い幸せをいただけてきたことに気付きます。教えを実践することで自分の生活態度が変わり、周りから「あなたは本当に変わったね」「前より優しくなったね」と言ってもらえるようになりました。今の私は、苦しんだ人を見るととても心配で、どうすればその人が苦しみから抜け出すことができるのか考える日々が増えました。そして、人さまが喜ぶ姿を見て、自分も一緒に喜べるようになりました。佼成会とのご縁をいただくまで、こうした気持ちになったことは一度もありませんでした。地道に修行を続けていく中で、自分でも気づかないうちに、慈悲の心を育てていただいていたのだと思います。

日々の修行は、言うなれば山登りに譬えることができると思います。誰でも山に登る前は不安を感じます。麓の道から山頂まで頑張って登りきれようか、ガイドさんは正しく道を案内してくれるだろうか、つい心配になります。

本日私が、教会発足20周年記念式典で説法をさせていただけるまでになれたことも、山登りに譬えることができるように思います。これまでの道を振り返ってみますと、今の私は山の五合目付近まで登ってこれ

たような気がします。入会当初は、最後までこの信仰を続けていけるか心配に思ったことがありました。佼成会の会員にならせていただき、山登りと同様に苦勞もたくさんありましたが、気づけば支部長のお役までいただき、さらには本部でのリーダー教育にも参加させていただき、今日まで歩みを進めることができました。このことは、私にとってかけがえのない宝物です。しかしここで終わりではなく、山頂という人生の最終ゴールに向けて、道ははるか先まで続いています。

いつゴールに到達できるのか、今も不安はあります。しかし、自分の心を静かに見つめてみると、一心に修行を続けているうちに、知らぬ間にたくさんの幸せをいただいていたことに気づきます。山に登る前に見えていた風景が、登るにつれて変化し、やがて大きく展望が開けていくように、修行の功德をいただくことで、ものの見方や考え方も大きく広がっていきました。

このように、私たちは修行すればするほど、心を込めて実践すればするほど、素晴らしい心の功德をいただくことができます。

自分一人の力で何かを成し得たと思った瞬間、私たち人間には驕慢の心が生じます。驕慢の心は自分自身を苦しめます。しかし、教えを学ぶことで驕慢の心から離れ、仏さまに守られている有り難さがわかります。すると、何かを成し得たときも、皆さんのおかげさまと、なにごとく謙虚にとらえられるようになるのです。

佼成会に入会することで、信仰という山を登り始めたときは、正しい道に案内していただけるかどうか不安がありました。しかし今では、これまで歩んできた道に間違いはなかったと確信しています。そして、いつか必ず頂上に登り着くことができると信じています。最後まで、今後も皆さんと一緒に歩んでまいりたいと思います。

そのために人さまの仏性を拝み、一人でも多くの方に立正佼成会の素晴らしい教えをお伝えし、「会員綱領」で唱和している「国家、世界の平和境建設」に向けて、今後の精進をお誓い申し上げ、私の説法を終えさせていただきます。

皆さま、ありがとうございました。



ラム拠点の庭でサンガの仲間と(中央)

Living the
 **LOTUS**

法華三部経

各品のあらましと要点

妙法蓮華経

法師品第十（前半）

法師とは

法師というのは、出家の僧侶だけではありません。人のために仏法を説く人はすべて法師です。この品は、そういう法師の心構え、特に末世のわれわれがどんな気持で法を説かねばならないか、また、正しく法を説くものにはどのような功德があるかを示されたもので、われわれの信仰生活に密着した、非常に大切な章であります。

まず注目しなければならないのは、お釈迦さまの説法の直接の相手が、この品から一変して、菩薩になるということです。いままでは、声聞・縁覚と菩薩は別物だという抜きがたい考えが人びとの胸に横たわっていたのですが、《授学無学人記品第九》までの説法においてお釈迦さまは、「そういう区別は本来ないのであって、みんなが菩薩であり、みんなが仏となる道を歩んでいるのだ」と繰り返して力説され、その証拠として、多くの声聞（縁覚を含んだ意味の声聞）たちに授記されたのです。

ですから、これから先、仏さまの教えを聞く者は、すべてが菩薩だということになります。つまり、説法を聞いている人間は前と同じでも、聞く気持が一変し、従って人間としての自覚が一変したわけです。それゆえ、すべてが菩薩となり、お釈迦さまの呼びかけも、これまでの「舍利弗よ」・「摩訶迦葉よ」・「もろもろの比丘よ」などから、「薬王菩薩よ」・「文殊菩薩よ」・「もろもろの菩薩よ」などへと変わるわけです。



いちねんずいき 一念随喜

まずお釈迦さまは、「もしわたしが説く妙法華経の一偈一句でも聞いて、一瞬のあいだでも『ああ、ありがたい』と心から思う者があつたら、わたしはその人に成仏の保証を授けましょう。その人は、必ず仏の悟りを得るに違いないからです」とお説きになります。普通の世間においても、偉大なものに対して素直な感動をおぼえる人こそ大成することは、多くの実例がそれを示しています。感動や感激がなく、実利一点張りで物事に立ち向かう人は、こぢんまりした成功や、小さく安定した地位を得ることはあつても、いわゆる大物になることはできません。歴史に残るような仕事をすることはできません。

ましてや信仰生活においてをやです。仏の教えは、偉大なるものの中でも、最も偉大なるものです。その仏の教えを聞いて素直に感動し、素直に信ずるようならば、その人は必ず無限に高められる要因をもつ人です。

願生

なぜならその人は、〈衆生を哀愍し願って此の間(生まれ)ということだからです。つまり、菩薩は仏になることのできる身でありながら、浄土に生まれる果報を捨てて、衆生をあわれむがゆえに、みずから願って此の間(人間)に生まれるというのです。善悪の業によって生まれ変わるのではなく、衆生を救おうという願いと、慈悲心によって生まれ変わってくるのです。

ですから、〈自分は菩薩としてこの世に生まれてきたのだ〉という自覚をもち、菩薩としての行ないをすることはだれにもできます。なぜなら仏・菩薩は、自分の意志のとおり、どんな身にもなり、どんな所にも生ずることができるからです。つまり、どのようにも〈化身〉することができるからです。従って、この世において、心から法華経の教えを受持し、一身を捧げてそれを説きひろめている人は、現実の身は、他と変わらぬ凡夫のように見えても、それは仏・菩薩が、この世界を救うために化身してきているのだ、と思わなければなりません。そして、そのような人には最大の尊敬を払わなければならないのです。

さらに、われわれ自身がそれを自覚することも大切です。そのような自覚は決して増上慢ではなく、聖なる自覚であります。ほんとうにその聖なる自覚をもち、もうみっともない所行などできなくなります。ひとりでに人のため世のためになる生き方をせざるをえなくなります。単に消極的な清浄さだけでなく、心の底からにじみでてくる何ものかに動かされて、自然と利他の行ないと法華経の弘通に献身せざるをえなくなるのです。それが、とりもなおさず菩薩の境地であります。



随喜を伸ばす供養と修行

このような菩薩としての自覚は、ほんの一念に「ありがたい」という喜びをおぼえた〈一念随喜〉を、一念で終わらせることなく持続させていくことによって、より確かなものとなるのです。つまり、その一念を育てて大きくし、心に定着させてこそ、〈一念随喜〉というものはその真価を発揮するのです。

では、〈一念随喜〉を育てるものは何か……それは供養と修行です。

供養というのは、仏さまとその教えに対する感謝の真心を捧げ、礼拝や、その他の行によってその真心をあらわすことです。

(庭野日敬著『法華三部経 各品のあらましと要点』

校成出版社, 2016年 [初版 1991年], p. 99-104)

一人ひとりの仏性を発揮しよう！

今月のご法話で、会長先生は「信解品」の「長者窮子の譬え」を引用してくださいました。

劣等感を抱き、卑屈な思いから自信をもてない人が増えている時代ですが、「長者窮子の譬え」で明かされるように、私たちはみな仏の子なのです。みんな、貴い輝ける仏性を一人残らずもっているのです。その自他の仏性を信解(信じ、理解する)し、自信をもって人生を歩むことが大事なのです。

菩薩としての私たちの役割は、自分のみならず、すべての人々に希望や喜びを与えられる縁になることです。

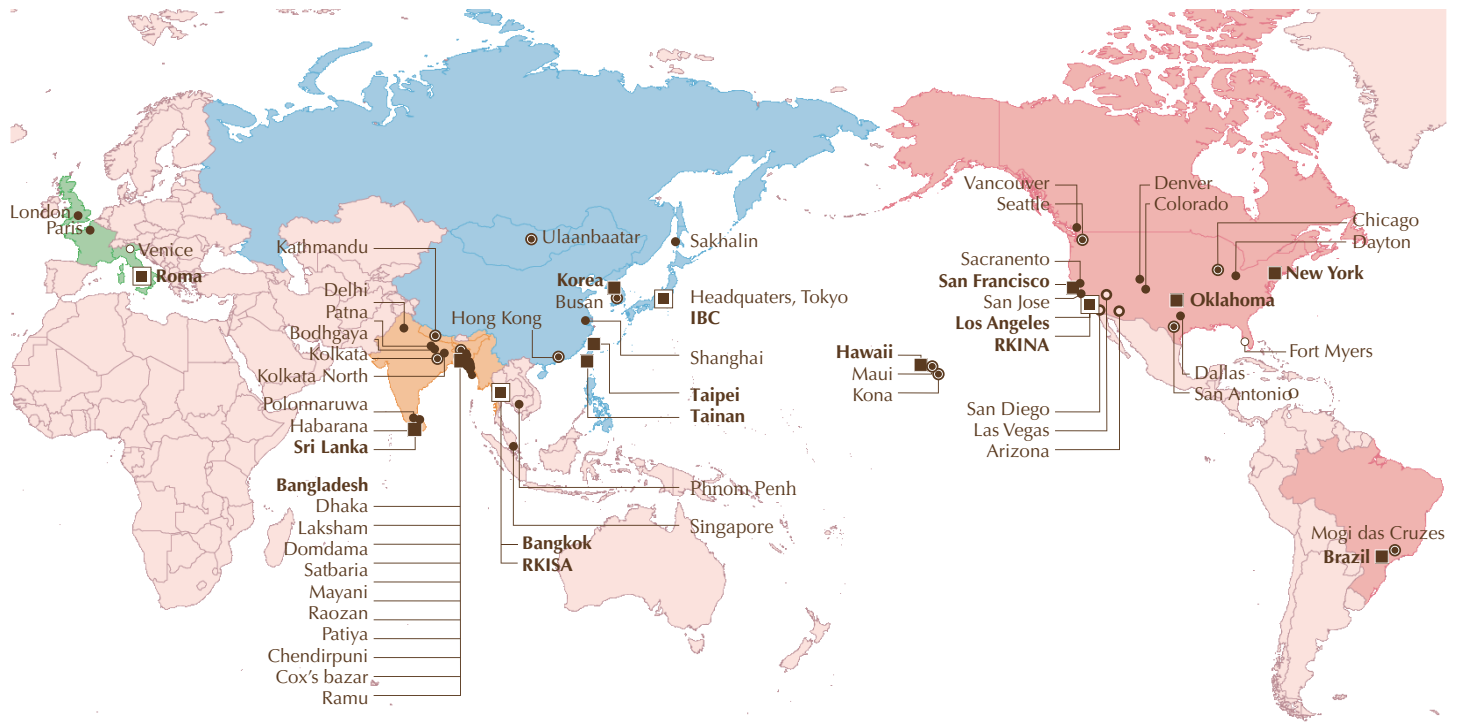
そのためにも、繰り返し教えを学び、日々の生活の中で繰り返し実践し、自らの宝物に気づけるようしっかりと精進をさせていただきますよう！

国際伝道部長
齋藤 高市



✉ Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。
お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。
E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA
 TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633
 Email: info@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA
 TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA
 TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA
 POBox 33636, CA 90033, USA
 TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567
 Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas**

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA
 POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA
 TEL: 1-650-359-6951 FAX: 1-650-359-6437
 Email: info@rksf.org URL: <http://www.rksf.org>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

- Rissho Kosei-kai of Sacramento**
- Rissho Kosei-kai of San Jose**

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA
 TEL: 1-212-867-5677 Email: rksny39@gmail.com URL: <http://rk-ny.org>

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA
 TEL: 1-773-842-5654
 Email: murakami4838@aol.com URL: <http://rkchi.org>

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA
 POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA
 TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303
 Email: rkokdc@gmail.com URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago St. #809 Denver, CO 80204, USA
 TEL: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA
 URL: <http://www.rkina-dayton.com>

The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA
 TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-262-4437
 Email: info@rkina.org URL: <http://www.rkina.org>

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA
 (Mail) POBox 692042, San Antonio, TX 78269, USA
 TEL: 1-210-561-7991 FAX: 1-210-696-7745
 Email: dharmasanantonio@gmail.com
 URL: <http://www.rkina.org/sanantonio.html>

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA
 TEL: 1-253-945-0024 FAX: 1-253-945-0261
 Email: rkseattlewashington@gmail.com
 URL: <http://buddhistlearningcenter.org>

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil
 TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377
 Email: risho@rkk.org.br URL: <http://www.rkk.org.br>

Facebook: <https://www.facebook.com/rishokosseikaidobrasil>
Instagram: <https://www.instagram.com/rkkbrasil>

Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP, CEP 08730-000, Brasil

在家佛教韓國立正佼成會

〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

在家佛教韓國立正佼成會釜山支部

〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

社團法人在家佛教立正佼成會

台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongheng District, Taipei City 100, Taiwan
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

台南市在家佛教立正佼成會

台灣台南市崇明 23 街 45 號
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488
Email: koseikaitainan@gmail.com

Rissho Kosei-kai South Asia Division

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059, West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rumpur, Gaya-823001,
Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center

Rissho Kosei-kai of Central Delhi

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,
New Delhi 110060, India

Rissho Kosei-kai of Singapore

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh

W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,
Phnom Penh, Cambodia

RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Bangkok

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei Dhamma Foundation

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa

Rissho Kosei-kai Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
TEL/FAX: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai Mayani

Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Damdama

Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Patiya

China Clinic, Patiya Sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Satbaria

Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Chendhirpuni,

Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai Dhaka

408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Laksham

Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar

Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar, Ramu Shibu

Rissho Kosei-kai Raozan

Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Buddiyskiy khram "Lotos"

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia
TEL: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoro-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Erdenet

2F Ikh Mandal building, Khurenbulag bag, Bayan-Undur sum,
Orkhon province, Mongolia

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK

Rissho Kosei-kai of Paris

Rissho Kosei-kai of Venezia

Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)

166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: <http://www.ibrk.org>